

15歳女性の月経痛が食養生、レメディー サポートチンクチャーにより軽減した

JPHMA認定ホメオパス
No.0689 池間早苗

要約(1)

- ・15歳女性。
- ・ひどい月経痛、めまい、及び吐き気があり、痛み止めをとっている。
- ・「機能的月経痛」と診断された。
- ・お腹にガスが溜まり張っていた。
- ・1日500ml程度の水を飲み、小麦製品の摂取を減らすと便通の改善、めまい、吐き気が軽減した。

要約(2)

- ・食養生をしてからは、痛みに合うレメディー (**Carb-veg. 30C**、**Mag-phos. 12X**) をとると、すみやかに軽減、痛み止めが必要なくなった。
- ・グリフォサートをベースにした除草剤の問題に対応するサポート**Glyph**、及び抗酸化作用サポート**Glutathi**をとり、さらに改善した。

主訴および目的

- ・15歳女性。
- ・主訴は14歳の誕生日以後、毎月、月経痛、めまい、及び吐き気がある。痛みのために昏倒するくらいひどく、痛み止めをとっている。
- ・月経に関する症状の軽減を目的とする。

タイムライン(1)

- 0歳 母親が高血圧になり、予定日より1か月早く計画出産。
出生体重2,000グラム。
- 3歳 RSウイルス感染。
- 4歳 ロタウイルス感染。

タイムライン(2)

7歳 両耳にあかぎれができる。

12歳 臀部に湿疹ができる。

14歳～現在 毎月の月経痛がひどくなり、
めまいや吐き気がある。

予防接種歴

なし

家族の病歴(1)

父 バイク運転中に車にはねられる
(ケガはなし)

バセドウ氏病

母 反対咬合(受け口)、虫歯になりやすい
脊椎側弯症

A型肝炎

人工中絶(1回)、帝王切開(2回)

ヘルペス

家族の病歴(2)

兄(クライアントより10歳年上)

反対咬合、偏平足

アトピー性皮膚炎

クローン病疑い(経過観察中)

カンピロバクター腸炎

父父 胆のう炎。がん。

父母 バセドウ病

家族の病歴(3)

母父 糖尿病疑い。うつ。認知症。

母母 うつ。

母妹 統合失調症。

手法およびレメディー選択(1)

当初、Sabina 200C、Millefoliumの
マザーチンクチャーをとるが、軽減しなかった。

Sabina 200C、 ϕ Millefolium の選択理由

1 : 509# 2. 系統 - 3. 生殖器 - 3. 女性生殖器 - 陣痛様の痛み(月経困難症などのような) :

2 : 514# 2. 系統 - 3. 生殖器 - 4. 月経 - 月経 - 頻繁すぎる(短すぎる周期) :

3 : 517# 2. 系統 - 3. 生殖器 - 4. 月経 - 月経 - 流出 - 長引く(流出期間が長すぎる) :

4 : 523# 2. 系統 - 3. 生殖器 - 4. 月経 - 血液 - 凝固した :

5 : 525# 2. 系統 - 3. 生殖器 - 4. 月経 - 血液 - 明るい色の :

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Sabin.	5	18	4	4	3	3	4				
2	Rhus.	5	17	3	4	3	4	3				
3	Sec-c.	5	15	4	3	4	1	3				
4	Bell.	5	15	4	2	2	3	4				
5	Ferr.	5	13	4	1	3	3	2				
6	Hyos.	5	12	3	1	1	3	4				
7	Sep.	5	12	4	3	3	1	1				
8	Chin.	5	11	2	2	3	3	1				
9	Creos.	5	11	3	3	3	1	1				
10	Bry.	5	11	3	2	3	1	2				
11	Plat.	4	15	4	3	4	4					

Millefoliumは血液の問題に適合する。

手法および・レメディー選択(2)

・産婦人科を受診。「機能性月経痛※」と診断。

※「機能性月経痛」子宮に明らかな病変が認められないもの

・エコー検査で「お腹にガスが溜まっているので、月経時には痛む。」水を毎日飲み、便秘を改善するよう指導された。

手法およびレメディー選択(3)

- ・1日500mlの水を飲む。

(これまで、あまり水を飲みたがらない傾向があった。医者から水を飲むだけでも変わると勧められた。)

- ・食養生で、小麦製品を減らした。

(学校給食は通常通りとった。クラスメイトと同じ食事がしたいと希望したため。)

結果(1)

- ・便通が改善(水を飲む、食養生で)。月経痛も軽減、めまい、吐き気はなくなった。
- ・痛みに合うレメディー(※)をとると速やかに作用し、痛み止めが必要なくなった。

※ Carb-veg. 30C、Mag-phos.12X

Carb-veg.30C、Mag-phos.12Xの選択理由

1 : 509# 2. 系統 - 3. 生殖器 - 3. 女性生殖器 - 陣痛様の痛み(月経困難症などのような) :

2 : 405# 2. 系統 - 1. 栄養(消化) - 8. 鼓腸 - 鼓腸 - 全般 :

3 : 407# 2. 系統 - 1. 栄養(消化) - 8. 鼓腸 - 鼓腸 - ガスの排出が妨げられている :

4 : 408# 2. 系統 - 1. 栄養(消化) - 8. 鼓腸 - 鼓腸 - 有痛性の(鼓腸性疝痛) :

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Puls.	4	16	4	4	4	4					
2	Cham.	4	15	4	4	4	3					
3	Nux-v.	4	15	3	4	4	4					
4	Ign.	4	14	3	4	4	3					
5	Lyc.	4	13	1	4	4	4					
6	Carb-v.	4	13	1	4	4	4					
7	Chin.	4	13	2	4	3	4					
8	Arn.	4	13	3	4	3	3					
9	Graph.	4	13	2	4	4	3					
10	Kali-c.	4	12	4	3	4	1					

Carb-veg.は6位だが、鼓腸性の疝痛に合うので選択。Mag-phos.は、痛みの頓服として使用。

結果(2)

・結果(1)をうけ、グリフォサートをベースにした除草剤の問題に対応するサポートGlyph、及び抗酸化作用サポートGlutathiをとったところ、便の固さが改善した。

(2種類のサポートチンクチャーは、日替わりで水筒に10滴入れ、1日かけてとっている。)

考察

- ・これまで食事でパンをとることが多く、腸が不活発になっていた。

(小麦に含まれるタンパク質や残留農薬によると推定)

- ・水を飲み、食養生をして腸の働きが改善されると、鼓腸が軽減し、主訴の月経痛が軽減した。腸を整えることで、レメディーも速やかに作用すると考えられる。

今後に向けて

- ・淋病マヤズムの制覇に取り組む。

(まだ月経痛はあり、便通も毎日ではない。
脂肪分の多い食事で気分が悪くなる傾向な
どから、2度目のレメディー選択で一位の
Puls.を検討)

ご清聴ありがとうございました。